

令和6年度 東京都立城東高等学校 進路ロードマップ

1 進路目標

- (1) 城東生としての自覚を持ち、『自律心・実践力』を求める行動を身に付ける。
- (2) 学習活動へ真剣に取り組み、かつ部活動へ積極的に参加することにより、『妥協なき文武両道』を目指す。
- (3) 最後まであきらめず、入れる進路先ではなく、『行きたい進路先』に向かう。

2 進路マップ

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月			
	1 学 期				夏 休 み	2 学 期				冬 休 み	3 学 期		春 休 み		
行 事	入校時セミナー スタディサポート	中間考査	体育祭	進路調査		期末考査 模擬試験	宿題テスト 文化祭	中間考査 進路調査	模擬試験		期末考査	模擬試験		修学旅行	学年末考査
高 1 生	～～ 自 己 認 識 の 1 学 年 ～～														
	Stage 1 城 東 生 に な る				Stage 2 将 来 に つ い て 考 え る				Stage 3 選 択 科 目 を 意 識 す る						
	予習⇒授業⇒復習のサイクルを確立する 授業を中心に自分の学習ペースをつくる 国・数・英の基礎力を定着させる				定期考査や模擬試験をやり直し、課題を見つける オープンキャンパスに参加をし、視野を広げる 本や新聞を読み、社会に対する関心を広げる				職業や大学に関する情報を集める 進路選択の最初の分岐点として、文理選択を考える 将来の自分の生き方を考え、目標をもつ						
高 2 生	～～ 自 己 伸 長 の 2 学 年 ～～														
	Stage 4 学 部 ・ 学 科 を 絞 り 込 む			Stage 5 大 学 入 試 を 理 解 す る			Stage 6 選 択 科 目 を 決 定 す る			Stage 7 3 年 0 学 期 を 意 識 す る					
	目標とする職業について理解を深める 興味のある分野の学部・学科を調べる			ジョイントセミナー（大学授業体験）に 参加し、大学入試の仕組みを理解する			自分の受験する学部・学科を決める 苦手科目に取り組み、克服する			文理選択を終え、本格的な体系的勉強を開始する 基礎をじっくり固め、一年後の受験に備える					
高 3 生	～～ 自 己 実 現 の 3 学 年 ～～														
	Stage 8 志 望 校 を 固 め る				Stage 9 勝 負 の 夏 を 制 す る				Stage10 自 己 実 現 す る						
	学習計画をしっかりと練り直す 入試科目を考慮し、志望大学を絞り込む				夏期講習や模擬試験を活用し、共通テスト・ 二次試験対策を本格化させる				模擬試験を活用し、最終確認をし、万全の体制を整える 最後まであきらめず、入れる大学ではなく、「行きたい大学」 を目指す						

3 進路キャリアプラン (1) 自己認識の1学年

月	行 事	取 組 み の ね ら い と 活 動	取 組 み の 到 達 目 標	取 組 み へ の 支 援・指 導
4	春期休業 入校時学習セミナー 校外学習	Stage 1 城東生になる 入校時学習セミナー ・スタディーサポート	- 中学生の意識を払拭し、高校生の自覚を身に付ける - 高校卒業時の目標をもたせる	- 予習⇒授業⇒復習のサイクルを確立させる - 予習と復習の状況を確認する - タイムマネジメントを行い、時間の使い方を確認させる
5	中間考查	- 適性検査の実施 ・個人面談の実施 1学期中間考查	- 授業を中心に自分の学習ペースをつくる - 時間の自己管理能力を身に付けさせる	新生活の課題や不安を見つめ、克服する手立てを講じる
6	体育祭 ジョイントセミナー (大学授業体験)	Stage 2 将来について考える - ジョイントセミナー ・第1回進路調査 - 実習生講話	- 定期考查をやり直し、課題を見つける 3年後の未来予想図を思い描く - 視野を広げて、職業、大学への理解を深める	- クラス担任を中心に、個に応じた支援をする - 学級活動で振り返りの作業を促す - 中間考查で理解度の低い生徒に対策を考えさせる - 第2回進路調査の分析結果を通して、改良・改善点を提示する
7	期末考查 夏期休業	1学期期末考查 ・記述模擬試験 - 夏期講習, 指名制講習 - オープンキャンパス参加	模擬試験をやり直し、「全国の中の自分」の位置を意識する	- 模擬試験の意義を説き、準備と振り返り作業の大切さを促す - 外部人材を活用し、生徒の学習を支援する (以下、定期考查前において活用)
8	夏期休業	- 夏期講習, 指名制講習 - オープンキャンパス参加	夏期講習を受講し、得意科目を伸ばし、不得意科目を克服する	「指名制夏期講習」を実施し、苦手科目克服の支援をする
9	文化祭	宿題テスト	近い将来の「社会人」としてのあり方を自覚する	地域、PTAとの連携を図る
10	中間考查	2学期中間考查	学習時間の量と質を再度見直し、より良い計画を立て直す	職業や大学に関する情報を提供する
11		Stage 3 選択科目を意識する 記述模擬試験 ・個人面談 ・第2回進路調査	- 進路選択の最初の分岐点として、文理選択を考える - 模試結果の振り返りをし、改善計画を立てる	個人面談の中で、希望、適性、目標実現のための取り組み方を指導する
12	期末考查 冬期休業	2学期期末考查 ・GTEC - 冬期講習	苦手科目を克服し、あきらめない心をつくる	考查や模試の意義、振り返りの大切さを説き続ける
1	冬期休業	- 冬期講習 - 記述模擬試験	1年次最後の模擬試験を通して、1年間の成果を総点検し、高一生の学力を補強する	2年次選択科目のあり方を提示し、進路の方向性を指し示す
2		個人面談の実施	2年次選択科目を意識する	個に応じた選択科目のあり方を支援する
3	学年末考查 合唱コンクール 春期休業	- 学年末考查 - 進路説明会	基本科目の定着と、苦手科目の克服をし、進級及び進学への心構えをする	進路説明会を通して、「全国の中での自分」の意識を植え付け、2年生への目標を持たせる

3 進路キャリアプラン (2) 自己伸長の2学年

月	行 事	取 組 み の ね ら い と 活 動	取 組 み の 到 達 目 標	取 組 み へ の 支 援・指 導
4	春期休業 校外学習	Stage 4 学部・学科を絞り込む ・スタディーサポート等	・授業を中心に自分の学習ペースをつくる ・学習時間の使い方を考える	・予習⇒授業⇒復習のサイクルを再度確立させる ・英語外部試験への意識づけを行う
5	中間考査	・学部及び学科調べ ・個人面談の実施 ・1学期中間考査	・将来の職業、興味のある分野に適した学部、学科を調べる	・希望する学部・学科調べの基礎となる「進路のてびき」等を提示し、面談の中で支援をする
6	体育祭 ジョイントセミナー (大学授業体験)	Stage 5 大学入試を理解する ・ジョイントセミナー ・第1回進路調査 ・実習生講話	・ジョイントセミナーに参加し、大学入試の仕組みを理解する ・2年後の未来予想図を思い描く	・生徒の興味・関心のある大学・学部と連携し、近い将来の「自己」を意識させ、未来予想図を立てさせる ・第1回進路調査の分析結果を通して、改良・改善点を提示する
7	期末考査 夏期休業	・1学期期末考査 ・7月記述模擬試験 ・教科科目選択説明会 ・夏期講習，指名制講習	・模擬試験を通して、「全国の中の自分」の位置を意識し、苦手科目に早目に取組み克服する	・教務部との連携のもと、教科科目選択説明会を実施する中で、選択のプロセスを提示する
8	夏期休業	・夏期講習，指名制講習 ・オープンキャンパス参加	・夏期講習で苦手科目を克服する ・オープンキャンパスに参加をし、進学先の情報を集め、自分に適する学部・学科を考える	・「指名者対象の夏期講習」を実施し、苦手科目克服の支援をする ・受験を意識した夏期講習を実施する
9	文化祭	・宿題テスト ・教科科目選択個人面談	・将来の進学先に合致した文理選択を考える	・科目選択に迷いのある生徒の支援を継続する
10	中間考査	・2学期中間考査	・学習時間の量と質を再度見直し、より良い計画を立て直す	・第2回進路調査の分析結果を通して、改良・改善点を提示する
11	修学旅行	Stage 6 選択科目を決定する ・記述模擬試験 ・教科科目選択決定 ・第2回進路調査	・次年度の教科科目選択を決定し、得意科目を「得点源」にしていく	・文理選択を終え、本格的な体系的勉強を開始できる学級づくりを工夫する
12	期末考査 冬期休業	・2学期期末考査 ・GTEC ・冬期集中セミナー	・基礎をじっくり固め、一年後の受験に備える	・冬期集中セミナーへの参加により、受験をより身近なものとして意識づけを行う
1	冬期休業	Stage 7 3年0学期を意識する ・冬期講習 ・3年0学期宣言 ・1月記述模擬試験	・2年次最後の模擬試験を通して、2年間の成果を総点検し、高二生の学力を補強する	・冬期講習を実施し、受験に向けた具体的な意識付けを図る ・始業式や学年集会の中で、「3年0学期」の高い意識を定着させる
2		・個人面談の実施 ・2月共通テスト模試	・3年0学期の意義及び意識を高く持ち続ける	・個に応じた選択科目のあり方を支援する
3	学年末考査 合唱コンクール 春期休業	・学年末考査 ・進路懇談会	・基本科目の定着と、苦手科目の克服をし、進級及び進学への心構えをする	・進路懇談会を計画・実施し、卒業生の合格体験談から良い刺激を受け、動機づけへの足掛かりをつけさせる